

JR貨物 夏季手当満額回答を求める要請書

夏季手当要求6項目の満額回答を強く求める

社員の生活改善に応えるべき

2023年度貨物会社の決算について、輸送量の低迷や大雨などの自然災害の影響を受け、連結△42億円、単体△62億円の経営赤字となった。3年連続の赤字で厳しい状況であるとしているが、営業収益においては昨年より1,876億円を上回る1,885億円の増収となっており、物価上昇で生活苦でも日々奮闘している社員と家族の生活を後回しに出来るものではない。

「JR貨物グループ長期ビジョン2030」で10年間で4,000億円を超える設備投資を行なっていくという背景があり、毎年400億円ほどの設備投資を行なっている結果が営業経費にも影響し、経営に大きく影響を及ぼしているものである。その責任を社員へ転嫁することは許されるものではありません。

国労が取り組んだ「賃金・生活実態アンケート調査」で、毎月の平均赤字額は38,448円となっており、預貯金の切り崩しや期末手当での補填で何とか生活を乗り越えていることが明らかとなっている。また、現在の生活程度の満足度では、「不満足」「やや不満足」は50.4%、「何とも言えない」は34.0%となっており、84.4%の方が今の生活に満足をしていないという結果が出ている。

このような不満をもつ労働者の生活実態を把握し、早急に生活改善することが貨物会社の責任である。

今こそ懸命な努力で安全運行を支える社員に対して、経営課題を優先するのではなく、社員の生活改善に応えるべきであり、夏季手当要求6項目の満額回答を強く求める。